

人間文化研究機構の連携研究「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」が平成22年度からはじまった。この研究に参画した研究者仲間との情報交換と、研究の進展を相互に共有するための連絡誌「人と自然」を発刊することとした。各号には特集と連載を組み、自然と文化との多様な関わりを自由かつ大胆に論じることをねらいとした。創刊号の特集は「火」、2号は「音」、3号は「虫」、4号は「天」、5号は「色」である。引き続き、皆さま方から本誌への御意見、コメントをお願いしたい。

研究代表：佐藤洋一郎（総合地球環境学研究所）
2013年9月30日まで

阿部健一（総合地球環境学研究所）
2013年10月1日より

目次
CONTENTS

特集 花をめぐる人と自然

人はなぜ花を愛でるのか

2

17世紀オランダ花卉画—誕生と展開の軌跡

小林頼子

6

【コラム】世界最大の花を愛でる—かつてスマトラの山中で出会ったラフレシア

斎藤清明

7

花を詠む蕪村

篠原 徹

11

「人はなぜ花を愛でるのか」をめぐる

白幡洋三郎

15

【コラム】中国人は花をどのように愛でたか—漢詩に歌われた花々

井波律子

16

花とネアンデルタール人

小山修三

20

花への想い

佐藤洋一郎

連載

24

資料紹介⑥

大柴清圓

26

都市の中の自然と文化⑥

アミ・アミナ・ムティア

フィールド報告

28

国内◎世界農業遺産「能登の里山里海」における

石川県能登町の取り組み

—文化遺産の保存・活用を中心として

新出直典

30

海外◎凶賊から英雄へ—台湾新北市八里区廖添丁廟

三田明弘

表表紙（右）東都上野花見之図・清水堂（部分）

国立国会図書館所蔵資料より

（左）ヒガンバナ（奈良県高市郡明日香村）

裏表紙 「お伽噺 花咲翁」

国立国会図書館所蔵資料より